



2025年5月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月14日

上場会社名 ヤマシタヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9265 URL <https://www.yhchd.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役 執行役員 社長（氏名） 山下 尚登
 問合せ先責任者（役職名） 取締役 執行役員（氏名） 吉田 弘幸（TEL）092-402-2922
 半期報告書提出予定日 2025年1月14日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年5月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年6月1日～2024年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期中間期	31,362	8.5	522	△15.6	552	△14.4	338	△29.5
2024年5月期中間期	28,899	4.5	618	3.5	645	3.3	480	—

（注）包括利益 2025年5月期中間期 392百万円（△27.3%） 2024年5月期中間期 539百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期中間期	136.80	—
2024年5月期中間期	188.05	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期中間期	26,442	8,709	32.9
2024年5月期	26,557	8,556	32.2

（参考）自己資本 2025年5月期中間期 8,696百万円 2024年5月期 8,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2025年5月期	—	0.00			
2025年5月期（予想）			—	61.00	61.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の連結業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	67,319	9.4	771	△20.2	821	△19.5	509	△12.2	204.47

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

特定子会社の異動には該当しませんが、2024年6月14日付でマイクロソニック株式会社の全株式を取得したことに伴い、第1四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(中間期)

2025年5月期中間期	2,553,000株	2024年5月期	2,553,000株
2025年5月期中間期	86,914株	2024年5月期	61,714株
2025年5月期中間期	2,472,455株	2024年5月期中間期	2,552,886株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】3ページ「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結会計期間	6
中間連結包括利益計算書	7
中間連結会計期間	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2024年6月1日~2024年11月30日)におけるわが国の状況は、内需に回復がみられ、経済に対する消費者信頼感の向上や雇用状況の改善により、緩やかな回復基調を維持しております。一方、依然としてインフレ圧力が存在し、エネルギー価格や原材料価格の上昇が消費者の購買力に影響を及ぼしている中、政府の経済対策や日本銀行の金融政策による景気刺激策が引き続き実施されております。

当社グループが属する医療業界におきましては、高齢化や医療技術の進展に伴い、ヘルスケア産業の市場規模の更なる拡大が期待されております。特に、情報通信技術を活用した遠隔医療や、最新のデジタル技術によるデジタルヘルス関連サービスが注目されており、各企業は、医療機関や患者のニーズに応じた新たなソリューションの提供を求められております。

このような状況の中、当社グループでは、「地域のヘルスケアに貢献する」という経営理念の下、2024年度を初年度とする「中期経営計画(2025年5月期~2027年5月期)」を推進し、基本方針に沿った主要施策に取り組んでおります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、中核事業である医療機器販売業において放射線機器等の設備投資需要が前年同期よりも増加したことや、検査・手術件数の増加により診療材料等の医療機器消耗品の需要が増加したこと、また、2023年12月に株式会社鹿児島オルソ・メディカルを連結子会社化したこと等に伴い、売上高は313億62百万円(前年同期比8.5%増)となりました。利益面につきましては、当期に実施した賃上げによる人件費の増加や物流コスト上昇、事業子会社であるマイクロソニック株式会社にて開発中の超音波画像診断装置「プレストスキャン」にかかる研究開発費の計上等による販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は5億22百万円(前年同期比15.6%減)、経常利益は5億52百万円(前年同期比14.4%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は3億38百万円(前年同期比29.5%減)となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高はセグメント内の内部売上高を含んでおります。

① 医療機器販売業

医療機器販売業のうち一般機器分野では、一般医療機器備品や放射線診断装置及び超音波診断装置の売上により41億63百万円(前年同期比9.5%増)となりました。一般消耗品分野では、汎用消耗品及び手術関連消耗品の売上により127億88百万円(前年同期比3.5%増)となりました。内視鏡、サージカル、循環器等により構成される低侵襲治療分野では、電子内視鏡手術システム等の内視鏡備品や、腹腔鏡システム等のサージカル備品、血管内治療、内視鏡関連消耗品の売上により72億44百万円(前年同期比4.5%増)となりました。整形、理化学、眼科、皮膚・形成、透析により構成される専門分野では、眼科関連機器や整形外科関連の売上により63億64百万円(前年同期比24.6%増)となりました。医療情報、設備、医療環境等により構成される情報・サービス分野では、電子カルテシステム等の医療IT備品の売上により7億95百万円(前年同期比21.5%増)となりました。

この結果、医療機器販売業の売上高は313億55百万円(前年同期比8.7%増)、セグメント利益は11億25百万円(前年同期比1.9%増)となりました。

医療機器販売業の売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

区分	前中間連結会計期間		当中間連結会計期間		増減額	前年同期比(%)
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)		
一般機器分野	3,801	13.2	4,163	13.3	361	9.5
一般消耗品分野	12,351	42.8	12,788	40.8	436	3.5
低侵襲治療分野	6,930	24.0	7,244	23.1	313	4.5
専門分野	5,106	17.7	6,364	20.3	1,258	24.6
情報・サービス分野	654	2.3	795	2.5	140	21.5
小計	28,844	100.0	31,355	100.0	2,510	8.7

② 医療機器製造・販売業

医療機器製造・販売業におきましては、主としてグループ開発製品である整形外科用インプラントを製造・販売しており、売上高は1億13百万円(前年同期比22.8%減)、セグメント損失は82百万円(前年同期は6百万円のセグメント利益)となりました。

③ 医療モール事業

医療モール事業におきましては、主として賃料収入により売上高は35百万円(前年同期比2.5%減)、セグメント損失は0百万円(前年同期は2百万円のセグメント利益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当中間連結会計期間末の総資産は264億42百万円となり、前連結会計年度末に比べて1億15百万円減少いたしました。流動資産は、主に現金及び預金の減少により、前連結会計年度末に比べて52百万円減少し、208億35百万円となりました。固定資産は、前連結会計年度末に比べて63百万円減少し、56億6百万円となりました。

(負債及び純資産の部)

当中間連結会計期間末の負債は、主に電子記録債務の減少等により、前連結会計年度末に比べて2億68百万円減少し、177億32百万円となりました。また、純資産は、前連結会計年度末に比べて1億52百万円増加し、87億9百万円となり、自己資本比率は32.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により6億33百万円減少し、投資活動により19百万円増加し、財務活動により2億39百万円減少いたしました。この結果、資金残高は前連結会計年度末から8億53百万円減少し、当中間連結会計期間末残高は44億47百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間において、営業活動により減少した資金は6億33百万円となりました。

主な要因としましては、売上債権の増加額4億19百万円、棚卸資産の増加額6億87百万円、および仕入債務の増加額2億62百万円等によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間において、投資活動により増加した資金は19百万円となりました。

主な要因としましては、有形固定資産の取得による支出3億16百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入3億39百万円等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間連結会計期間において、財務活動により減少した資金は2億39百万円となりました。

主な要因としましては、自己株式の取得による支出65百万円、株主配当金の支払による支出1億73百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期の連結業績予想につきましては、2024年7月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,300	4,447
受取手形、売掛金及び契約資産	11,610	12,029
商品	2,974	3,662
その他	1,019	712
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	20,887	20,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,074	3,075
減価償却累計額	△1,730	△1,787
建物及び構築物(純額)	1,343	1,287
土地	1,687	1,975
その他	790	803
減価償却累計額	△674	△697
その他(純額)	116	105
有形固定資産合計	3,147	3,368
無形固定資産		
のれん	292	315
その他	45	40
無形固定資産合計	338	356
投資その他の資産		
投資有価証券	1,267	1,326
関係会社株式	16	-
破産更生債権等	597	561
退職給付に係る資産	12	20
その他	888	534
貸倒引当金	△597	△561
投資その他の資産合計	2,184	1,882
固定資産合計	5,670	5,606
資産合計	26,557	26,442

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年5月31日)	当中間連結会計期間 (2024年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,282	9,199
電子記録債務	7,640	6,985
未払法人税等	213	68
賞与引当金	700	213
その他	747	680
流動負債合計	17,584	17,146
固定負債		
繰延税金負債	67	235
その他	348	351
固定負債合計	416	586
負債合計	18,000	17,732
純資産の部		
株主資本		
資本金	494	494
資本剰余金	627	627
利益剰余金	6,763	6,927
自己株式	△165	△231
株主資本合計	7,720	7,818
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	715	776
退職給付に係る調整累計額	107	100
その他の包括利益累計額合計	822	877
非支配株主持分	14	12
純資産合計	8,556	8,709
負債純資産合計	26,557	26,442

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
売上高	28,899	31,362
売上原価	24,959	27,157
売上総利益	3,940	4,205
販売費及び一般管理費	3,321	3,683
営業利益	618	522
営業外収益		
受取利息及び配当金	5	6
仕入割引	7	7
受取手数料	11	12
その他	15	13
営業外収益合計	40	40
営業外費用		
支払利息	0	1
為替差損	4	-
手形売却損	3	4
持分法による投資損失	0	1
その他	4	2
営業外費用合計	14	9
経常利益	645	552
特別利益		
貸倒引当金戻入額	54	36
特別利益合計	54	36
特別損失		
段階取得に係る差損	-	3
特別損失合計	-	3
税金等調整前中間純利益	700	586
法人税、住民税及び事業税	48	70
法人税等調整額	175	178
法人税等合計	223	249
中間純利益	477	337
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△2	△1
親会社株主に帰属する中間純利益	480	338

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
中間純利益	477	337
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54	61
退職給付に係る調整額	7	△6
その他の包括利益合計	62	55
中間包括利益	539	392
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	542	393
非支配株主に係る中間包括利益	△2	△1

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	700	586
減価償却費	90	88
のれん償却額	8	22
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△54	△35
賞与引当金の増減額(△は減少)	△496	△487
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	9	-
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	-	△16
受取利息及び受取配当金	△5	△6
支払利息	0	1
持分法による投資損益(△は益)	0	1
売上債権の増減額(△は増加)	△667	△419
棚卸資産の増減額(△は増加)	△354	△687
仕入債務の増減額(△は減少)	532	262
破産更生債権等の増減額(△は増加)	54	35
その他	42	320
小計	△140	△336
利息及び配当金の受取額	5	6
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△426	△309
法人税等の還付額	16	6
営業活動によるキャッシュ・フロー	△544	△633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△47	△316
無形固定資産の取得による支出	△0	△1
投資有価証券の取得による支出	△32	△2
敷金及び保証金の差入による支出	△53	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△21	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	339
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△154	19
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	-	△65
配当金の支払額	△122	△173
その他	△1	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△123	△239
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△823	△853
現金及び現金同等物の期首残高	5,825	5,300
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,002	4,447

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前中間連結会計期間(自 2023年6月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
一般機器分野	3,801	—	—	3,801	—	3,801
一般消耗品分野	12,351	—	—	12,351	—	12,351
低侵襲治療分野	6,930	—	—	6,930	—	6,930
専門分野	5,106	—	—	5,106	—	5,106
情報・サービス分野	654	—	—	654	—	654
その他	—	146	—	146	—	146
内部売上高	△127	—	—	△127	△0	△127
顧客との契約から生じる 収益	28,717	146	—	28,864	△0	28,863
その他の収益	—	—	36	36	—	36
外部顧客への売上高	28,716	146	36	28,899	—	28,899
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	28,717	146	36	28,900	△0	28,899
セグメント利益	1,104	6	2	1,113	△494	618

(注)1. セグメント利益の調整額△494百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△488百万円、棚卸資産の調整額1百万円、のれん償却額△8百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当中間連結会計期間(自 2024年6月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	中間連結 損益計算書 計上額 (注)2
	医療機器 販売業	医療機器 製造・販売業	医療モール 事業	計		
売上高						
一般機器分野	4,163	—	—	4,163	—	4,163
一般消耗品分野	12,788	—	—	12,788	—	12,788
低侵襲治療分野	7,244	—	—	7,244	—	7,244
専門分野	6,364	—	—	6,364	—	6,364
情報・サービス分野	795	—	—	795	—	795
その他	—	113	—	113	—	113
内部売上高	△141	—	—	△141	△0	△141
顧客との契約から生じる 収益	31,214	113	—	31,327	△0	31,327
その他の収益	—	—	35	35	—	35
外部顧客への売上高	31,214	112	35	31,362	—	31,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	—	0	△0	—
計	31,214	113	35	31,363	△0	31,362
セグメント利益又は損失(△)	1,125	△82	△0	1,041	△519	522

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額△519百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△493百万円、棚卸資産の調整額△3百万円、のれん償却額△22百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。